

研究成果情報1

[成果情報名]フジザクラ系LWと有望なD(ゼンノーD-01)との組合せ

[要約]当試験場のLWと昨年導入したデュロック種(ゼンノーD-01)との組合せは繁殖成績、特に産子数、離乳頭数、生時体重に優れ、産肉成績である上物率も高い値を示し、今後の推奨組合せとして有望である。

[キーワード]フジザクラ、LW、デュロック種(ゼンノーD-01)

[担当]畜産試験場 養豚科

[連絡先]055-273-6441

[区分]関東東海北陸農業・中小家畜

[分類]技術、参考

[背景・ねらい]

平成2年に系統豚「フジザクラ」が作出され、それ以降フジザクラポーク生産農家へフジザクラを払い下げているが、フジザクラをベースに大ヨークシャー種及びデュロック種の交配を行い、肉豚(フジザクラポーク)が生産されている。そこで、国、他県の系統豚との組合せ検定を行なっている中で、昨年導入したD(ゼンノーD-01)についての組合せの検討を行う。

[成果の内容特徴]

- 1 繁殖成績のLW(イワテハヤチネ系)とD(ゼンノーD-01)の組合せ及びLW(ナガラヨーク系)とD(ゼンノーD-01)の組合せの産子数及び、離乳頭数は優れていた。
- 2 産肉成績のLWとD(ゼンノーD-01)の組合せの出荷日齢は他の組合せに比べ早く、DGもやや多かった。
- 3 産肉成績の上物率はLW(イワテハヤチネ系)とD(ゼンノーD-01)の組合せが優れていた。
- 4 格落ち要因は全体で肉付きが悪かったが、LWとD(ゼンノーD-01)の組合せは他の組合せに比べ低かった。

[成果の活用面・留意点]

- 1 繁殖成績及び上物率の向上が望める。
- 2 組合せ検定済み品種以外のLWとの交配は未知数である。
- 3 出荷は適正日齢、適正重量を厳守すること。

[具体的データ]

表1 繁殖成績

組合せ	腹数 腹	産子数 頭	生時体重 Kg	離乳頭数 頭	育成率 %
L×(W)	32	8.1±2.7	1.5±0.3	6.8±2.5	85.6
LW1×D1	6	7.2±2.5	1.4±0.3	6.0±2.2	80.2
×D2	2	12.5±0.5	1.3±0.0	7.0±1.0	56.5
×D3	5	10.4±2.2	1.3±0.1	8.8±2.0	84.6
×D4	2	12.0±0.0	1.5±0.1	10.5±0.5	87.5
LW2×D1	4	8.0±3.2	1.6±0.3	7.5±2.9	95.0
×D2	1	4.0	1.9	4.0	100.0
×D3	4	6.5±4.2	1.4±0.3	6.0±4.7	87.5
×D4	2	10.5±0.5	1.6±0.1	10.0±0.0	95.5
LW3×D1	1	12.0	1.4	11.0	92.0
×D2	1	11.0	1.3	10.0	91.0
×D3	4	6.0±3.6	1.4±0.1	5.8±3.1	97.8
×D4	3	7.7±2.5	1.6±0.4	7.3±2.1	96.7

(W): W1,W2,W3 W1:イワテハヤチネ W2:ナガラヨーク W3:フジヨーク
D1:サクラ201 D2:サクラ203 D3:フジロック D4:ゼンノーD-01

表2 産肉成績

組合せ	頭数 (頭)	出荷日齢 (日)	枝肉重量 (Kg)	DG (g)	BF(3部位平均) (cm)	背腰長II (cm)	屠体幅 (cm)	上物率 (%)
LW1×D1	24	186±17.8	76.6±2.1	629±59.6	2.7±0.7	73.3±2.7	34±1.1	33.3
×D2	38	187±18.6	76.8±1.7	624±46.0	2.5±0.4	72.1±2.6	34±0.8	55.3
×D3	28	185±24.9	75.7±1.5	623±62.2	2.3±0.5	72.2±2.8	33±1.4	39.3
×D4	6	192±4.9	78.2±3.7	616±26.5	2.7±0.5	71.8±1.8	34±0.4	66.7
LW2×D1	17	183±9.7	77.1±1.7	642±31.7	2.9±0.7	72.9±2.8	34±1.1	23.5
×D2	3	162±0.0	76.7±3.2	714±6.9	3.1±0.6	77.7±2.1	32±1.8	66.7
×D3	11	188±16.8	76.2±2.2	624±64.8	2.5±0.5	72.2±2.9	34±1.4	36.4
×D4	13	180±20.4	77.8±1.7	647±77.5	2.7±0.5	71.5±1.6	34±1.0	53.8
LW3×D1	7	177±30.0	75.6±2.3	625±45.3	2.2±0.3	72.4±2.5	34±0.8	42.9
×D2	9	199±15.7	76.6±1.8	583±47.6	2.6±0.3	73.3±2.1	34±0.5	88.9
×D3	14	213±23.4	75.2±2.2	557±70.0	2.4±0.5	71.1±1.4	34±1.0	21.4
×D4	12	175±11.6	76.4±3.0	667±43.6	2.3±0.3	71.7±2.2	33±1.5	50.0

表3 格落ち要因

組合せ	頭数	肉付き	均称	背薄	肩厚	腰厚	被覆	重量大	体型不良 (頭)
LW1×D1	24	8	2		1	1	2		
×D2	38	8	3	3			2		
×D3	28	11	2	2			1		
×D4	6	1					1		
LW2×D1	17	4	1	1		1	6		
×D2	3			1					
×D3	11	5		1			1		
×D4	13		2		2	1	1		
LW3×D1	7	2	1	1					
×D2	9			1					
×D3	14	8	2	1					
×D4	12	2		1		1	2		

[その他]

研究課題名:系統豚「フジザクラ」の組合せ検定

予算区分:県単

研究期間:平成12年4月1日～平成14年3月31日